

関連団体資料(団体概要と活動報告)

提出日	2026年3月25日	記入者	舛内正幸	2025年度報告 (関連団体規程第4条)			
団体名称	理窓サイエンスカフェ			創立	2012	年から	
代表者	植木 キク子	関連団体役職	会長	mail			
	理 学部	物理	学科	学科	1963	年 3月	卒業
事務局	舛内 正幸	関連団体役職	事務長	mail			
	理 学部	物理	学科	学科	1977	年 3月	卒業
会員	約50 名	会員構成	理大卒業生、大学関係者、神楽坂商店街関係者、学生、その他				
理窓会費納入者	不明 名	内訳 例、役員等	執行部のうち12人は理窓会会員				
執行部	名称 例、役員会	幹事会	10	回/年	定期総会	年ごと	無
	執行部構成 例、会長、副会長等	会長1、副会長1、事務長1、会計2、募集配信1、HP1、会場運営他6、合計13名					
会費等	… 円/年	各回の講演会参加費として、スタッフは1000円、一般参加者は2000円。					
会報等	10 回/年	各回の講演会において、参加者に当日の開催案内、講演概要、次回の開催案内を制作配布している。					
備考	当サイエンスカフェは、理大関係者の他、会員の友人、神楽坂の皆さん向けにサイエンスカフェを運営している。参加者全員から参加費（運営費として使用）を頂いており、参加費は講演者への謝金、講演資料、当日プログラム、次回の開催案内の制作に活用させていただいている。						
団体活動報告	<p>(基本方針) 当会は会員だけの会合ではなく、会員が世話役となって当学の卒業生とその親族、友人、神楽坂商店街の人々の自然科学・人文科学の知的好奇心を満たすための支援活動及び、東京理科大学と神楽坂商店街との交流を深めることを目的として2012年7月に発足し、「PORTA神楽坂サイエンスカフェ」を理窓会倶楽部で開催していた。理窓会への登録は2014年であり、以後「理窓サイエンスカフェ」として、略毎月1回同窓生並びにその友人、神楽坂の人々に参加を呼びかけ、活動している。カフェの講話は理大OBによる科学を基本にし、神楽坂由来の方々の他、他大学や学識経験者等も積極的に取り入れている。カフェにはお茶とお菓子を提供するが、そのほとんどを神楽坂の店から調達している。講演会の開催場所は、当初PORTAであったが最近では理大13号館（森戸記念館）を使用している。</p> <p>(2025年度活動状況)</p> <p>コロナ禍の影響で、参加者数の減少が生じていて2025年も回復は見られない。因みに、コロナ禍前年の2019年度は平均51名/月で2024年度は38名/月となり、約13名の減少となっていた。また、参加者の高齢化が減少傾向に拍車を掛けており、若い世代の参加が強く望まれるため、開催日を開催月の第3金曜日から第3土曜日に変更した。これにより微弱ながら参加者の増加が見られた。また、講演会の会場を会場使用料の高いポルタ（理窓会倶楽部）から安価な森戸記念館（13号館）に変更したことで、参加者減少による運営費低下を補完し今のところ支障なく運営を図っている。しかしながら、今後の活動を維持発展していくには参加者数の増加は必須であり、広く興味を引く講演テーマ（講師）発掘と若い世代へのアピールが求められている。</p> <p>2025年度の講師と演題は以下の通り。詳細は当会ホームページに掲載している（http://riso-sciencecafe.webnode.jp/）。</p> <p>4月：冷食協会・三浦佳子氏の「知ろう、生かそう冷凍食品」、 5月：早稲田大学教授・大河内博氏の「富士山頂の『マイクロプラスチック』」、 6月：東京理科大学教授・安盛敦雄氏の「ガラス材料の秘密」、 7月：エーザイ執行役員・中濱明子氏の「アルツハイマー治療薬」、 9月：観世流シテ方能楽師・鈴木啓吾氏の「能楽～祈りの芸能～」、 10月：中島忠平漆器店店主・中島悠氏と支援者・山下弘子氏の「輪島漆器の話」、 11月：東京理科大学名誉教授・尾立晋祥氏の「絵心から物理学、そして触媒核融合まで」、 1月：東京理科大学学長・石川正俊氏の「人を越えた知能システム」、 2月：東京理科大学教授・高橋秀依氏の「オピオイドクライシスから世界を救う!」、 3月：日本写真学会フェロー・桑山哲郎氏の「街で出会う3D画像と錯視」。 8月と12月を除く毎月の講演会開催で全10件、理大関係者によるものは5件、神楽坂関係は2件、その他3件であった。</p> <p>(2026年度活動計画)</p> <p>理窓サイエンスカフェの当面の課題は、参加者をコロナ前の50名以上に回復させる見込みを付けて、会場を元のポルタに戻すことである。これは参加者の多くが望むところの「カフェを楽しみながらサイエンスの世界に浸る」という理窓サイエンスカフェの発足当時に描いた本来の姿を取り戻すことである。2026年度は森戸記念館の使用料増額もあり、昨年度の諸対策（ポスター掲示、開催日、場所の変更ほか）の見直しも含めて更なる対策が必要となる。経費削減のためポルタ使用料が低額になることが強く望まれる。</p> <p>2026年度の講師と演題は、不思議で楽しく興味深いものを選定しており、日時と講演内容について現在交渉中である。</p>						